

2024（令和6年度）卒業生の保護者のことば

伊那西高等学校

普通コース H・K さんのお父様より

娘がこの伊那西高校で過ごした三年間は、親としても本当にかけがえのない時間でした。入学当初は新しい環境に戸惑うこともありましたが、先生方の温かく丁寧なご指導と、明るく前向きな校風のおかげで、徐々に自信を持って毎日を過ごせるようになりました。

入学した娘は部活動で未経験のソフトボールクラブに入部しました。「本当に大丈夫？三年間続けられる？」と、親としては心配な気持ちが強かったような気がします。ただ、新入部員の殆どが未経験者であったことが娘にとって何より良かったのではないかと思います。ソフトボールクラブでの活動は、娘にとって大きな転機となりました。厳しい練習や悔しい思いを経験する中で、仲間とともに励ましあい、支えあうことで、精神的にも大きく成長したように思います。試合での勝利の喜びだけでなく、思うような結果が出なかったときの悔しさも、全てが娘の成長につながりました。チームの一員としての責任感や、最後までやり抜く力を身につけられたことは、これから的人生において大きな糧になると信じています。

進路では先生方が日頃より生徒たちと向き合い、生徒たちの可能性と進路を本気で考えて下さったおかげで第一志望の大学に無事合格することが出来ました。

私自身学校に行く機会が多かったのですが、まずは校舎が新しく綺麗であることは常々思っておりました。また、生徒たちがいつも明るく笑顔で友だちや先生方と会話している姿を見るたびに心が穏やかになりました。娘を通わせている親としてはこの光景を見るたびに安心しておりました。

学校生活全体を通して、勉強と部活動を両立しながら、自らの目標に向かって努力する姿に、親としても多くのことを教えられました。娘にとっても、私たち家族にとっても、この学校に出会えたことは本当に幸運でした。心より感謝申し上げます。

（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科に進学）

普通コース R・I さんのお母様より

伊那西高校に入学してから卒業までの日々の中たくさんの経験を積み成長できました。

二年生の懇談会で担任の先生から娘を生徒会に立候補させたいと言われました。その時きっぱり「娘には無理です」と答えました。娘はみんなの前に立つような性格ではないので娘本人も「無理です」といました。しかし先生は「〇〇になら任せられる、〇〇なら大丈夫だよ」とずっと言ってくれ、色々悩みましたが挑戦することになりました。選挙では落選しましたが生徒会役員として一年間やることとなり、そこからは忙しい日々でした。休日も夏休みも生徒会…生徒会…親が思っていた以上に大変そうでした。iPad やパソコンで編集したり、音響をやったり。今までやったことのない事は生徒会の友達に相談したり協力してもらったり。逆に他の生徒会役員の友達が困っていたら「大丈夫？」と声をかけたりするようにもなっていました。生徒会の一大イベントである西高祭の時は緊張とプレッシャーから体調を崩してしまい迷惑を掛けましたが、そんな時でも他の生徒がすぐフォローに入ってくれました。生徒会を通し

て娘を見ていたら、成長したな、生徒会に挑戦して良かったな、良い経験ができたなと思いました。先生から立候補の声掛けがあったときには絶対に無理だと思っていましたが、今は先生に感謝の気持ちしかありません。

卒業した娘は姉妹校である飯田短期大学に進学しました。高校在学中に飯田短期大学に見学に行き、早い段階で高校卒業後のイメージができていたし姉妹校なので親としても安心できていました。

伊那西で過ごした3年間は確実に将来へつながる時間だったと思います。

(飯田短期大学 生活科学学科に進学)

普通コース A・M さんのお母様より

伊那西高等学校とは…娘が「青春の日々」を過ごした素晴らしい場所でした。

娘の姉(長女)、娘と合わせて6年間、伊那西高等学校でお世話になりました。6年間、娘達を見てきて担任の先生・クラスの生徒さん、温かい先生方との絆の強さを感じる学校です。

人間関係に慎重で、感情を面に出さない娘ですので最初はなかなかお友達が出来ず、わたしも不安な時期もありましたが、1年生の終わりからゆっくりお友達が出来始めました。

2年生になってからは学校から帰ってくると、担任の先生との会話、クラスの皆さんとの楽しい時間、お友達の良い所、クラブの様子など、わたしにまで学校の様子が目に見えそうなくらい、笑顔で毎日、話をしてくれました。スポーツフェスティバル・文化祭・合唱コンクールなどは、わたしも観に行かせていただきましたが、担任の先生とクラスの皆さんのが一致団結して、ともに手を取り合い、楽しんでいる姿はとても感動しました。

3年生になり、地元の企業に就職をして貢献したい、それと同時に娘が幼い頃から打ち込んでいる県内には地元にしかないスポーツ競技があり、「選手として地元チームで続けて行くこと」「小学生チームのコーチになること」を揺らぐことのない強い目標としてを持つようになりました。志望の企業を決めるまでに締め切りギリギリまで悩み抜きました。自分の人生を決める企業を、自身で真剣に向き合えたことは親として嬉しかったです。そして第一志望の企業に就職することができました。それは2年生の早い段階から社会の厳しさや、社会人になる心得、マナーを教えていただき、就職試験に向けての丁寧なご指導で支えて下さった多くの先生方の賜物です。ありがとうございました。

そして上記にも触れましたが、学校生活と並行してスポーツに打ち込んでいた娘。勉強や就職試験に向けて励まなくてはいけない時期でも、卒業してからも、競技を応援して下さっている担任の先生が在校中に大会の応援に来て下さったことがあり、照れくさくて嬉しそうな娘の顔を今でも思い出し、胸が熱くなります。娘のことを深い部分から理解し、支えて下さった担任の先生には心から感謝しております。

社会人として、まだまだ未熟過ぎるコーチとして歩き始めたばかりです。今まで以上に辛いことや失敗も増えていくと思います。そんな時、伊那西高等学校は卒業後も相談が出来る場所であると思いますし、学校で培った多くの学びや楽しかった思い出を胸に、乗り越え成長して欲しいです。伊那西高等学校の美しい学び舎、温かく優しく、時には厳しく愛が溢れる先生方、明るく優しい元気いっぱいのクラスの皆さん、お友達には感謝しかありません。娘が伊那西高等学校に入学して本当に良かった！素晴らしい3年間をありがとうございました。

(株式会社 マスダに就職)

進学コース M・K さんのお母様より

娘の夢は美容師になること。幼少期から美容師の資格のある叔母達の姿を見て、憧れから始まった夢でした。成長してもずっと変わることなくその想いを夢に描き、学校生活を送ってきました。

高校進学の際は、親子共に本当に悩みました。娘の性格は、良くも悪くも全力で、とにかく決めたことは一生懸命取り組み、それ故に、時にその重圧に苦しめられ、それでもなんとか乗り越える。この繰り返しで学校生活を送ってきたような子どもでした。自分の娘ながら、その姿には感心しましたが、いつかバランスを崩すのではと心配もありましたので、良い意味でもっと気楽に、楽しく高校生活を送ってほしいと願っていました。娘の思いも同じでしたので、将来を見据えた上で、そしてまた、勉強も頑張りたいとの思いから、伊那西高校進学コースを選択しました。

入学してからの娘は、生活環境の整った学校で、集中して学習ができ、また良い仲間にも恵まれ、まさに快適な高校生活を送ることができました。女子校の為か、学校の風紀からなのでしょうか、皆、自立しているようで個を認めることができ、とても心地良いクラスだったそうです。その心地よさを生む源は、仏教校である教えにあったのだと後に気づくことができたのです。年間を通して、その教えに触れる機会が数多くある西高です。教えを聞き、感じることで、それらを吸収して、自分を認め、周りの人を大切にできる心が育っていくのだと思いました。

行事のたびに拝見する資料は、私たち親にとっても、心に響くものがあり、自分を見つめる良い機会になりました。これらは、西高でしか味わうことのできない思いであり、私にとっても一生の宝物になりました。娘においても、長い人生の、今この時にこうした経験ができたことを幸せに思います。娘のこれから生きるヒントにきっとなってくれるはずです。このように、学習だけでなく、心も育ててくださる西高を選び、本当に良かったと思います。

娘も3年間、学習にクラブ活動にと、充実した毎日を過ごすことができました。頑張りすぎる性格も、折り合いをつけて、力を抜くことも上手になった気がします。今は望み通り、夢に向かい、美容専門学校へ通っています。

まだまだ先の長い人生です。たくさんの困難があると思いますが、西高での学びを胸に、乗り越えていけると信じています。最後になりましたが、ここまで導いてくださった先生方の、温かく、丁寧な御指導に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(山野美容専門学校 美容学科に進学)

進学コース A・T さんのお母様より

当初から伊那西高校は併願で受験しようと考えていました。しかし、中学校3年の冬、もともと志望していた公立高校に合格することが厳しいかも知れないと担任の先生に告げられた娘と私たちは、併願にするのか専願にするのか話し合いを続けました。最終的には、小さい頃から人間関係を広げることが不得意だった娘にとって、少人数で安心して学習できる環境が魅力的であること。また進学コースには7限目もあり、大学受験を考えた時にも手厚くサポートしていただけるのではないかと考え、伊那西高校のみ受験することにしました。

入学式の日、娘は、宣誓を任せていいただきました。手に汗握りながら、娘の様子を見守りました。中学校では人前に出ることなく、クラスの中でも一人でいるような娘が、ステージ上で堂々と宣誓を読む姿に感動しました。そこからの3年間は、中学時代とはまるで別人のような娘の姿がありました。女子高で少人数の授業、先生方も気さくに話しかけてくださるという環境の中で、気持ちが少しづつほぐれていったのでしょう。クラスに友達ができ、部活でも友達ができました。先輩たちもやさしく話しかけてくれると言っていました。

様々な経験の場を与えていただけたのもありがたかったです。文化祭に向けて頑張っている話、合唱をクラスで取り組んでいる話等、仲間や先輩・後輩と共に熱中して取り組む様子を娘からたくさん聞かせてもらうことができました。釈尊降誕会の法話で自分のまっすぐな気持ちを語らせてもらったこともあります。部活でも様々な発表の場を経験させていただくことができました。他校の部員と共に鹿児島の総文祭に参加させてもらえたのも貴重な経験でした。驚いたのは、自分から生徒会に入ってみたいといい、選挙に出たことです。伊那西高校のために自分も何かしたいと考えたようです。生徒会では悩んだり大変に感じたりすることもあったようですが、その都度真剣に考え、もがきながらも次へと進んでいく娘が頼もしく見えました。このような様々な経験の中で、娘は、コミュニケーションの力や目標に向かって努力し、成し遂げるという力をつけていったように思います。

ニュージーランドへの短期留学をしたいと言ったときにも、大変驚きました。知らない環境へ自分から行きたいと言うとは思っていなかったからです。親は会話が通じるのか、ホームステイ先で困ったりしないのかと少し不安もありましたが、留学に向けて担当の先生や一緒に行く友達と細かいところまで確認し合いながら準備を進める中で、本人は不安よりも楽しみの方が大きくなっていました。ホームステイした初日こそ、少し弱気なメールが届きましたが、その後は、送られてくる写真やメッセージは楽しさにあふれ、最後は「もう少しいたかった」と残念がっていました。高校時代に留学まで経験できるとは思っていませんでした。この経験が、娘の考え方や心をより広くし、大きな自信を与えてくれたと思います。

娘が仏教と出会えたのも伊那西高校のおかげです。仏教に興味を持った娘は、さらに詳しく仏教を学びたいと国立大学の人文学部や私立大学の文学部を目指して、大学進学を目指す多くの友と励まし合いながら、日々勉強に取り組んでいました。コース別の少人数で手厚く学習を見ていただけたおかげで、塾に通わせることはしませんでした。最終的には、行きたいと願った私立大学に合格でき、学びたいと願った仏教を学んでいます。

伊那西高校での学び、友との出会い、先生方の教えのおかげで、娘は大きく成長することができました。高校生活の中で、娘は自分の可能性を求めて輝き続けることができました。そして自分の進みたい道を見つけることができました。伊那西高校の先生方をはじめ、関わってくださった皆様には感謝しかありません。中3のあのとき、伊那西高校を受けると決め、伊那西高校に進学させて本当によかったと思います。

(龍谷大学文学部仏教学科へ進学)

進学コース S・H さんのお母様より

高校選択は娘の将来にとってとても大切な事だと改めて感じました。娘の助産師になりたいという夢は小さい頃から変わる事なく、中学在学中どの高校を選択するべきか一緒に考えました。高校体験も沢山参加しました。その中で、伊那西高校の生徒一人一人に向き合って寄り添ってくださる教育、専攻科特別進学枠もあり娘の夢を実現するには最適の高校だと感じ、進学コースを選択しました。

入学してから3年間合唱クラブに所属し3年生の時にクラブ長をさせて頂きました。1年間楽しい事ばかりではなく悩んだ事も多くあり、その度にクラブの同級生、顧問の先生担任の先生、下級生、クラスメイトに助けられながら無事にクラブ長を終える事が出来ました。3年生最後の定期演奏会では合唱クラブの集大成に感動しかありませんでした。高校の合唱コンクールでは第1位を取らせて頂き感動いたしました。

伊那西高校は “とてもいいよ、と中学校の時に多くの親御さんから聞いた事は間違いではなく、娘にとって良い選択だったと改めて感じております。

今、夢を叶える一歩として 「飯田短期大学専攻科特別進学枠（助産学）」に合格し、まずは3年間看護師国家資格取得に向け看護学科で頑張っています。その授業の中で、一年前高校の授業の折に説明して頂いた内容を今の授業でより詳しく教わっていて、大変役に立っていると話してくれました。先を見据えての勉強内容にも大変感謝です。

伊那西高校での培った、規則正しい身なり、先生方のサポートなど様々な面において信頼し通わせる事が出来ました。伊那西高校での3年間は素敵な出会いを得たとても充実した時間だった様に思います。3年間ありがとうございました。

(飯田短期大学 看護学科に進学)